

米国通商代表部（USTR）がトリドネックス
およびメキシコ政府と合意した事項

■トリドネックスが取るべき対応

- トリドネックスは工場から解雇された少なくとも 154 人の従業員に対して、最低 9 カ月分の賃金を支払う。勤続期間の長い労働者にはそれ以上の賃金を払う。合計額は 60 万ドルを超える。
- トリドネックスは、組合の代表権に関する従業員による投票において、個人による自由・秘密投票を支援する。それには、中立性の宣誓および、メキシコ労働社会保障省（STPS）と独立した監視人の施設立ち入りの許可を含む。直ちにこれらを開始するとともに、投票後もその状況を維持する。
- トリドネックスは労働協約（CBA）を周知することで透明性を向上させるとともに、組合加入可能な従業員、管理職、人事担当職員に対して（CBA の）将来的な修正を可能とする。
- トリドネックスは STPS が全従業員を対象に、就業時間内に施設において、団体交渉および結社の自由の権利に関する研修を行うことを認める。その後も、定期的に同様の研修を行うことを認める。
- トリドネックスは結社の自由および団体交渉権をより一層保護すべく、その人材キャパシティーと人材育成方針を向上させるためのさまざまな手段を講じる。それには、同社の労働関連の慣習を徹底的に見直すことを含む。
- 安全な職場環境を確保するために、トリドネックスは従業員に新型コロナウイルスの症状がないか確認し、症状がある、または感染した可能性がある者には検査を行い、職場での感染拡大を防ぐべく个人防护具（PPE）を提供する。さらなる従業員の保護のために、疫学者に相談した上で、推奨された措置を講じるよう努力する。
- トリドネックスは従業員が労働権の侵害を報告できるよう、外部のサービスプロバイダーに管理された匿名かつ秘密のホットライン、電子メールを維持し、周知する。また、それら報告を調査し、ホットライン、電子メールを利用した者が報復を受けないよう保証する。

■メキシコ政府が取るべき対応

- 従業員が組合代表権に関して、自由、安全かつ平和的な条件の下で投票できることを保障する。
- STPS によるトリドネックスの強固な査察を直ちに実施するとともに、投票から 1 年後の補完的な査察を含めて、継続する。
- 選挙監視プログラムの実施を認める。
- トリドネックスが投票中に、中立性を維持し妨害しないことを確かにする。
- トリドネックスの従業員に団体交渉と結社の自由の権利に関する研修機会を提供する。

以上